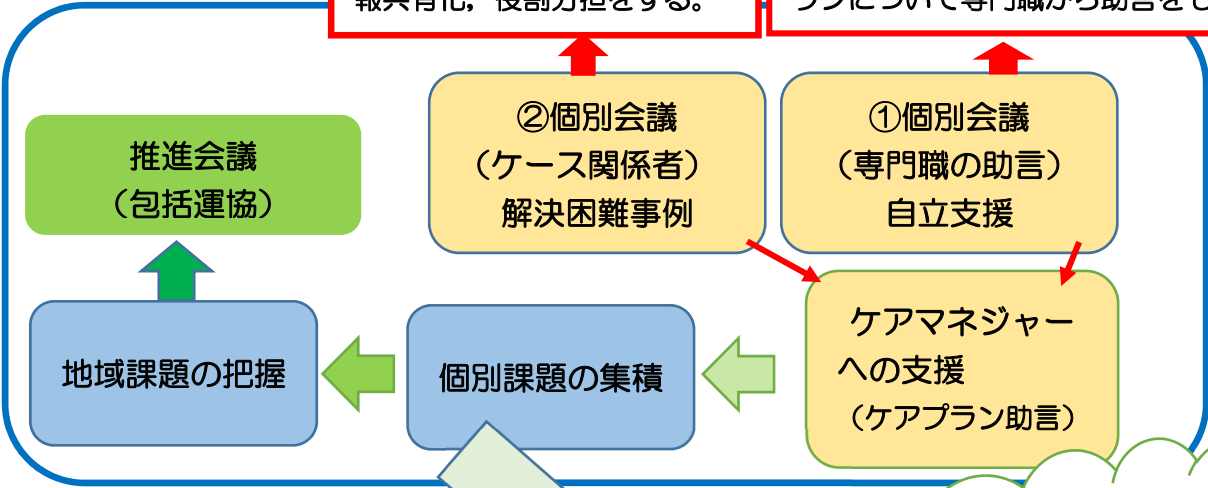


地域ケア会議

関係者とは・・・
 民生委員、サービス事業所、
 ケアマネ等
 開催方法：事例により随時開催
 開催内容：支援の方向性等の情報共有化、役割分担をする。

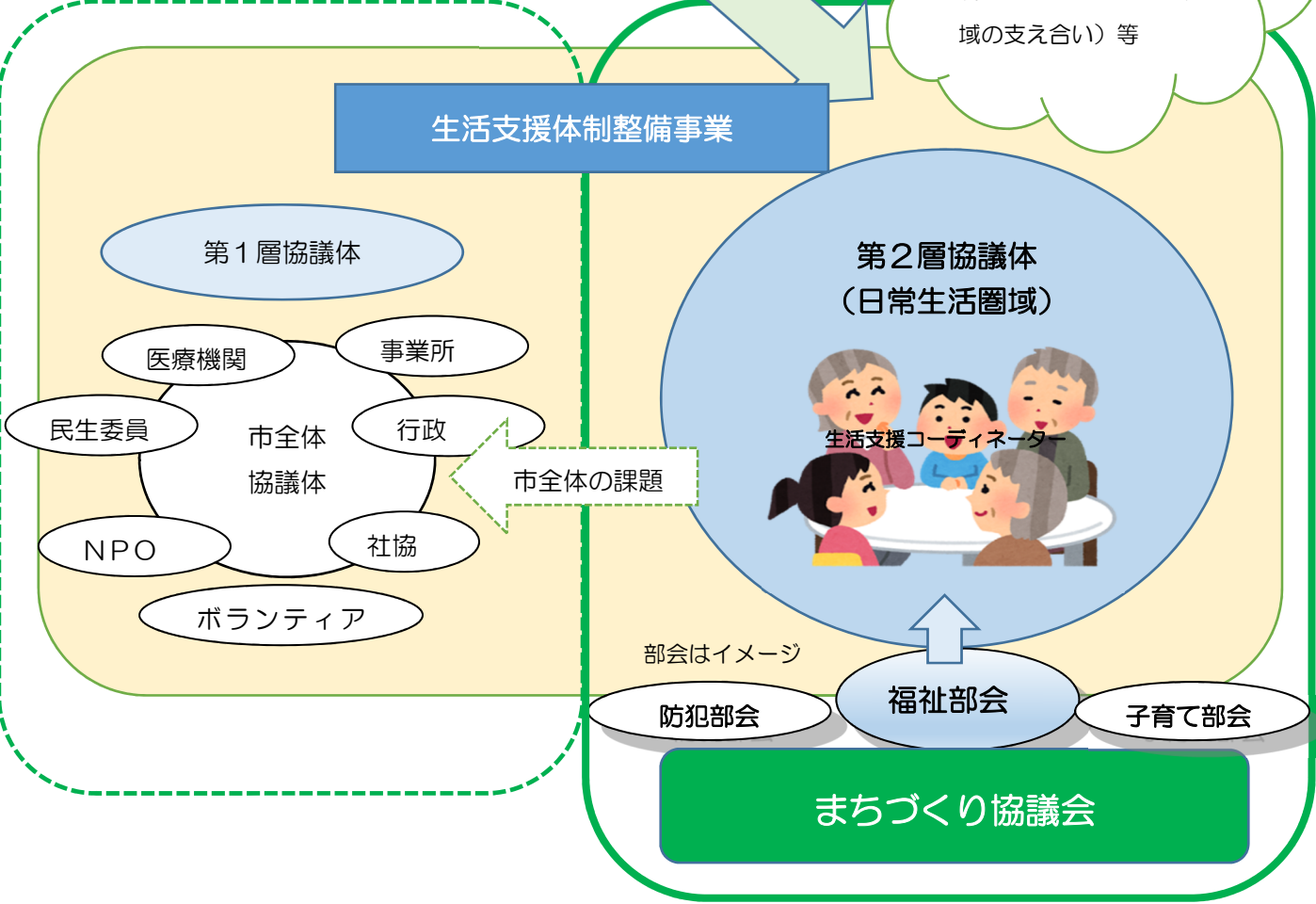
専門職とは・・・
薬剤師、作業療法士、管理栄養士、
 歯科衛生士等
 開催方法：毎月定例開催
 開催内容：ケアマネが作成したケアプランについて専門職から助言をもらう



- 【支援担当職員】
 ○社協 (生活支援コーディネーター)
 ○地域包括支援センター職員

歩いて行ける場所にサロンがあればいい。(住民主体の通いの場)
 朝のゴミ出しが困難 (地域の支え合い) 等

生活支援体制整備事業



【平成30年度の地域ケア個別会議（自立支援）取組】

回	開催日	検討内容	個別課題
1回	7月30日	「頸椎症術後のケースについて」（要支援2）	手術後の活動制限があるが、趣味活動を継続したい。
2回	8月27日	「大腿骨頸部骨折術後の独居ケースについて」（要支援2）	ひとり暮らし高齢者のゴミだし、掃除等をどうするか。
3回	10月25日	「腰椎症, 変形性膝関節炎のため, 腰痛・膝痛があるケース」（要支援2）	歩いて行ける範囲に高齢者が集う場(サロン)がない。
4回	11月19日	「パーキンソン病のケース」（要支援1）	① 車の運転の代替案 ② 地域の中で男性(高齢者)が集える場がない。
5回	12月17日	「股関節術後股関節痛, 腰痛を訴えているケース」（要支援2）	歩いて行ける範囲に会話を楽しむような集う場がない(サロンまで遠い)。
6回	1月21日	「パーキンソン病の進行により気力・体力低下を来しているケース」（要支援2）	病気の進行によって、外出の支援をどうするか。
7回	2月4日	「息子の死をきっかけに心身の変化を来した90歳のケース」（要支援1）	超高齢者になっても参加しやすい老人会とは何か。